

予約不要！
飛入歓迎！



大阪大学大学院人間科学研究科
附属 未来共創センター



お問い合わせはこちらまで
松井 大（行動生理学・助教）
h.matsui.hus@osaka-u.ac.jp

第23回 生物と行動セミナー

Transformerの注意はヒトの注意に似ているか？

—視覚経路における脳と人工ニューラルネットの比較—

オンライン登録はこちら

講演者：山本 拓都

大阪大学 大学院 医学系研究科

8/22（金）14:00～15:00

<https://x.gd/ruDS7>

@人間科学部本館1階インターナショナルカフェ

+ オンラインZoom開催

未来共創センター・IMPACT共催



講演者の山本拓都さんは、「AIがモノを見るとき、脳とどんな共通点があるのか？」という問いに挑む研究者です。最新の研究では、自己教師あり学習という方法で訓練されたAI（Vision Transformer）が、人間とほぼ同じように「顔」「体」「背景」といった要素に注意を向けることを自ら学ぶ現象が発見されました。本講演では、AIがどのようにして人間らしい視線の動きを獲得するのか、そしてそれが私たちの脳の仕組みの理解にどのような示唆を与えるのかをわかりやすく紹介いただきます。AIや脳科学に関心のある方はもちろん、「AIは難しそう」と感じている方にとっても、トランスフォーマーがLLMにも用いられている生成AIの基盤技術であることを踏まえれば、「人間らしさ」を探る絶好の入り口となるはずです。AIと脳研究の最前線に触れ、闊達な議論ができる貴重な機会ですので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。